

8:41 同様に、あなたの民イスラエルの者でない異国人についても、その人があなたの御名のゆえに、遠方の地から来て、  
8:42 彼らが、あなたの大いなる御名と力強い御手と伸ばされた御腕について聞き、やって来てこの宮に向かって祈るなら、  
8:43 あなたご自身が、あなたの御座が据えられた場所である天でこれを聞き、その異国人があなたに向かって願うことをすべて、かなえてください。そうすれば、地上のあらゆる民が御名を知り、あなたの民イスラエルと同じようにあなたを恐れるようになり、私が建てたこの宮で御名が呼び求められなければならないことを知るでしょう。  
8:44 あなたの民が敵との戦いのために出て行くとき、遣わされる道で、あなたがお選びになった都、私が御名のために建てた宮に向かって【主】に祈るなら、  
8:45 天で彼らの祈りと願いを聞いて、彼らの言い分を聞き入れてやってください。  
8:46 罪に陥らない人は一人もいません。ですから、彼らがあなたの前に罪ある者となったために、あなたが怒って彼らを敵に渡し、彼らが、遠くであれ近くであれ敵国に捕虜として捕らわれて行き、  
8:47 捕らわれて行った地で我に返し、その捕囚の地であなたに立ち返ってあわれみを乞い、『私たちは罪ある者です。不義をなし、悪を行いました』と言い、  
8:48 捕らわれて行った敵国で、心のすべて、たましいのすべてをもって、あなたに立ち返り、あなたが彼らの先祖にお与えになった彼らの地、あなたがお選びになったこの都、私

が御名のために建てたこの宮に向かって、あなたに祈るなら、  
8:49 あなたの御座が据えられた場所である天で、彼らの祈りと願いを聞き、彼らの訴えをかなえて、  
8:50 あなたの前に罪ある者となったあなたの民を赦し、あなたに背いた、彼らのすべての背きを赦し、彼らを捕らえて行った者たちの前で彼らをあわれみ、その者たちがあなたの民をあわれむようにしてください。  
8:51 彼らはあなたの民であり、あなたがエジプトから、鉄の炉の中から導き出された、ご自分のゆずりの民だからです。  
8:52 どうか、あなたのしもべの願いと、あなたの民イスラエルの願いに御目を開き、彼らがあなたを呼び求めるとき、いつもその願いを聞き入れてください。  
8:53 あなたが彼らを地上のあらゆる民から選り分けて、ご自分のものとされたのですから。【神】、主よ。あなたが私たちの先祖をエジプトから導き出されたとき、あなたのしもべモーセを通してお告げになったとおりです。」

さらにソロモンは、外国人すなわち異教徒のためにも祈りました。それは「すべての民が御名を知り…（神を）恐れるように」なるためです。このように内側を強固にさせていただくためには、外の人々の祝福と救いをも願うのが、主のみこころです。教会の外、家庭の外の人々を救いのために愛しましょう。

また民が罪を犯して「敵国に捕虜として捕らわれていった場合」までも想定して、主に救いを願っています。主のおられるところには、あらゆる願いが可能です。それは主が絶対的な主権者であるからです。それゆえ主に従うことが、前提です。そしてまた従いきれない場合も、あわれ

みを願ってよいのです。主と生きた交わりをしていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

